

三八地労連

第53回評議員会議案

日時 2013年2月8日(木)18:30～20:30

会場 三八教育会館

次第

1. 開会あいさつ
2. 議長選出
3. 三八地労連議長あいさつ
4. 議事
 - ①活動報告
 - ② 2013 年春闘方針（案）について
 - ③ 2013 年度暫定予算（案）について
 - ④ 2013 年度役員の定数について
 - ⑤選挙管理委員の選出について
 - ⑥その他
5. 議案採決
6. 議長退任
7. 閉会あいさつ

評議員数(組合員50人に1人・端数切り上げで評議員を選出する)

年金者組合 2・県教組・高教組・日赤労組・全医労・八医労・青銀労組・建交労鉄道・全港建・全法務
全司法・全労働職安・全労働基準・国土交通東北運輸海運・国土交通東北運輸陸運・東北ビル従組
社会福祉事業団労組・郵産労

合計 19 人

建交労サンライズ産業 0・建交労近鉄物流 0

※ 評議員会の成立要件：評議員総数の2分の1以上の出席【10人の出席で成立】。なお、第23回定期大会で大会運営規則が改訂されたため、「選出すべき代議員数が1名の場合、大会議長への委任を認める」。

三八地労連(三八地方労働組合総連合)

八戸市柏崎一丁目 10-34 ☎・Fax 0178-47-8886

I 活動報告

【経過日誌】

- 7/ 7(土) 三八地労連定期大会
(代議員18人委任状7役員・傍聴3、来賓2)、ひだまりユニオン地区交流会(山田、新岡/5)
- 7/ 9(月) 県原水協常任理事会(新岡/8人)
- 7/11(水) №001発送(県労連新聞、九条の会講演会、オスプレイ署名)
- 7/12(木) 八戸原水協理事会(山田、新岡/7団体8人) ※8/7,8,15原爆展、6,9街頭署名、5,12,19朝市署名
- 7/14(土) 県労連幹事会⑩(山田)、はちのへ九条の会世話人・賛同者の集い(20人)
- 7/16(月) さようなら原発10万人集会(医療生協・中川原)
- 7/17(火) ゆきとどいた教育…幹事会(新岡/6人)
- 7/20(金) 地労連幹事会①・懇親会(5人)、科学者会議八戸分会例会、「TPPでどうなる日本?」(20人)
- 7/22(日) 三八母親大会(125人)
- 7/23(月) 地労連ニュース№127印刷・発送
- 7/24(火) 八戸原水協・企業への賛助要請(新岡、内田) ※11社・1個人+1金庫(62,000円)
高齢者運動連絡会会議(新岡) ※代表幹事・高橋年金者組合、事務局・一山社保委員長
- 7/25(水) 八戸原水協・企業への賛助要請(新岡、内田)、生存権裁判街宣(新岡/7人19筆)
- 7/26(木) 地労連ニュース発送、デリー東北に写真展記事掲載依頼、あけぼの薬局とコープにチラシ
- 7/27(金) 消費税街宣(10人37筆)、教育のつどい現地実行委員会(八戸シーガルビューホテル、新岡)
- 7/28(土) 県社保協総会(新岡-三八から4人/90人)
- 7/30(月) 八戸原水協・河原木内科へ賛助要請(新岡)
- 8/ 2(木) 八戸原水協・写真展チラシ、6・9チラシ、オスプレイチラシの印刷
- 8/ 4(土) 県労連幹事会(山田)、オスプレイ配備反対署名行動(新岡、菊池/4人19筆)
- 8/4~6 原水爆禁止2012年世界大会・広島(県教組2、高教組、八医労)
- 8/ 5(日) 八戸原水協・核兵器廃絶朝市署名①(5人132筆、2610円) ※新婦人3、中屋敷、新岡
- 8/ 6(月) 原爆と人間パネル展準備(新岡/4人)
- 8/ 7(火) 八戸原水協・「原爆と人間」パネル展(新岡→尾崎→近藤→新岡/60人、はっち)
- 8/ 8(水) 八戸原水協・原爆と人間パネル展(はっち、新岡、矢代、内田/74人、はっち) 30筆、5275円
パネル展後片付け(新岡、内田)、東北ビル従組・中山さんとの相談(新岡)
- 8/ 9(木) 八戸原水協・ナガサキの日行動(16人45筆) ※医療生協13、山田、新岡、(菊池)、中屋敷
- 8/10(金) 青森生存権裁判(最終弁論)
- 8/12(日) 八戸原水協・核兵器廃絶朝市署名②(4人109筆、3100円) ※中屋敷、新岡、中川原、山本
- 8/14(火) 八戸原水協・原爆と人間パネル展準備(3人)
- 8/15(水) 原爆と人間パネル展(近藤→中川原・内田→新岡/24人、コープ ※24人、8筆、502円)
- 8/16(木) 全労連共済青森支部第3回総会(年金者組合三八支部-高橋)
- 8/18(土) 県平和委員会総会(新岡-八戸3人/8人) ※9/8三沢平和学習会
- 8/19(日) 八戸原水協・核兵器廃絶朝市署名③(5人102筆)、はちのへ九条の会講演会(湯浅誠講演、150人)
- 8/20(月) 高齢者運動三八連絡会(新岡)
- 8/21(火) ゆきとどいた教育…幹事会(新岡)
- 8/23(水) 2012医療・介護ナースウェーブ現地実行委員会(新岡、森越-全医労/8人?)
- 8/24(金) 消費税廃止各界連街宣・署名(8人49筆)、生存権裁判街宣・署名(9人19筆)
八戸金曜行動(PEACE LAND主催、新岡/18人)
世界大会報告会(中道、新岡、菊池、森越/26人)、東北ビル従組・中山さんの相談(新岡)
- 8/25(土) 県労連定期大会(新岡、菊池、佐々木美-県医労、山田-役員)
- 8/28(火) 地労連幹事会②(6人)
- 8/30(木) 青森生存権裁判を支援する会三八連絡会総会(新岡/20人?)、教育のつどい現地実(新岡)
- 8/31(金) 八戸金曜行動(PEACE LAND主催)、40人
- 9/ 2(日) 原発事故一年半 鎮魂と希望をめざす全国交流集会in福島(新岡) ※青森県から18人
- 9/ 5(水) 東北ビル従組執行委員会(新岡)

- 9/ 7(金) 八戸金曜行動(PEACE LAND主催、27人)
- 9/ 8(土) 三沢平和学習会(新岡/21人) ※秋田、宮城2、神奈川、日本平和委員会
- 9/ 9(日) 八戸原水協・6・9 行動(6人32筆) ※医療生協3、新岡、新婦人(平賀)、民商(中田)
- 9/11(火) レク担当者会議(山田、森越)
- 9/12(水) 年金者組合「助け合い介護サービス」学習会(24人) ※はっち10/20会場費支払い、使用者登録
三八高齢者運動連絡会(新岡/5団体12人)
- 9/14(金) 八戸金曜行動(PEACE LAND主催)、31人
- 9/15(土) 教育なんでも懇談会(鮫公民館、18人)、県労連幹事会①(新岡)
- 9/20(木) 地労連幹事会③(6人)、東北ビル従組・中山氏の相談(解雇問題)
- 9/21(金) 10.20パレード協議、10:00八戸市警
年金者組合支部ニュース発行No.253、地労連ニュースNo.128改印刷(年金者組合へ)
八戸金曜行動(PEACE LAND主催)、32人 ※高校生が二人参加
- 9/23(日) 9.23 反核！PEACE DEMO in はちのへ(主催：みらいアクション青森)、35人
なくせ！原発・核燃三八連絡会事務局会議(新岡、内田、荒)
- 9/25(火) 県原水協常任理事会(欠)、ゆきとどいた教育…幹事会(新岡)
青森生存権裁判を支援する会街宣 ※ほぼ雨天中止(5分程度1筆?)
- 9/27(木) あおもり教育のつどい現地実行委員会
- 9/28(金) 八戸金曜行動(PEACE LAND主催)、22人
- 9/29~30 東北原水協学校(新岡)
- 10/ 2(火) 健康まつり実行委員会(新岡ーゆきとどいた教育を考える三八の会として)
- 10/ 3(水) なくせ！原発・核燃三八連絡会(新岡、8団体9名)
- 10/ 5(金) 八戸金曜行動(PEACE LAND主催)
- 10/ 6(土) 八戸原水協・6・9 行動(7人19筆)
- 10/ 7(日) 青森生存権裁判を支援する会バーベキュー交流会(新岡/120人ー八戸から31人)
- 10/11(木) つどい現地実行委員会(新岡)
原発即時ゼロ11.11全国いっせい行動in八戸のよびかけ発送(25団体・個人)
- 10/12(金) 自治体要望書検討会(菊池、新岡、中道、高橋)、八戸金曜行動(PEACE LAND主催)、30人
- 10/13(土) 県労連幹事会(山田)、健康まつり準備(新岡)
- 10/14(日) ゆき…三八の会・朝市教育署名(新岡/5人) ※105筆
八戸医療生協健康まつり(新岡、年金者3) ※オスプレイ90筆、教育86+12(年金者)、年金156
「原爆と人間」パネル展(健康まつり) ※アピール署名ー医療生協43、新婦人70
- 10/15(月) 11.11チラシ印刷(4000枚)、八戸原水爆禁止の会理事会(新岡)
- 10/18(木) しんぶん赤旗日曜版11.11チラシ折込
- 10/19(金) 年金者一揆(三八から23人/200人)
- 10/20(土) 医療・介護ウェーブin八戸(山田、菊池、新岡/100人超ー八医労、全医労、全労災青森、県内)
- 10/21(日) 朝市教育全国署名(新岡/10人161筆-高教組3、新婦人4)
- 10/22(月) 社保協キャラバン学習会(10人)、なくせ！原発・核燃三八連絡会(新岡、9団体10人)
あおもり教育のつどい現地実行委員会(新岡)
- 10/23(火) ゆきとどいた教育…幹事会(新岡)、オスプレイ配備撤回街宣(2人)
なくせ！原発・核燃三八連絡会報告の発送・意見広告
- 10/24(水) 八医労定期大会(中道)、年金者組合秋のレク(26人)、消費税署名・街宣(5人5筆)
- 10/25(木) 地労連幹事会④(6人)、青森生存権裁判を支援する会街宣
- 10/26(金) 八戸金曜行動(PEACE LAND主催)、33人、11.11チラシの発送(高橋製作所労組等)
- 10/27(土) 県労連組織財政検討委員会(新岡)
はちのへ九条の会学習会「15年戦争と八戸の戦跡」(35人)
- 10/28(日) ~~地労連レクーおおのキャンパス、9:00三八教育会館集合ー出発~~ ※参加申込少数で中止
- 10/30(火) 社保協キャラバン(新岡/階上町3人、10人→南部町3人、11人-立花町議)
- 10/31(水) デーリー東北へ(11.11行動掲載の依頼→情報クリップに掲載?)
- 11/ 2(金) 社保協キャラバン(新岡/新郷3人、12人→五戸6人、12人→三戸4人、12人+大向→田子2人・コヒー、12人)

- 八戸金曜行動(PEACE LAND主催)
- 11/3~4 あおもり教育のつどい(新岡、中道/150人-一般参加が45) ※記念講演(野口邦和)は120人
- 11/ 5(月) 社保協キャラバン(新岡/八戸18人、29人)
「原発ゼロへ 全国いっせい行動」記者会見(内田、新岡、神田、高橋、東奥、デーリー東北)
なくせ!原発・核燃三八連絡会事務局会議(新岡)
- 11/ 7(水) 新婦人署名(11人、新婦人8、原水協3) ※原発61筆、オスプレイ3、核兵器5
- 11/ 8(木) 全医労・いい一日行動
- 11/ 9(金) 八戸金曜行動(PEACE LAND主催)、21人
- 11/10(土) 県労連幹事会(山田)
- 11/11(日) 原発ゼロへ 全国いっせい行動in八戸(中道、山田、新岡、菊池/170人)
北海道・東北28カ所で30イベント(北海道11カ所、福島8、秋田3、青森2、宮城2、岩手1、山形1)
- 11/13(火) 年金者組合支部委員会(新岡/24人) ※組合活動の学習
- 11/14(水) ゆきとどいた教育…幹事会(新岡/6人) ※私費の問題-佐井由美子
日本共産党から「要求実現への共同…申し入れ」(松橋、松田)
- 11/16(金) 八戸金曜行動・PEACE LAND主催、17人
- 11/20(火) 地労連幹事会⑤(6人)
- 11/21(水) 県原水協常任理事会(新岡)
- 11/22(木) あおもり教育のつどい現地実行委員会(新岡)
- 11/23(金) 県労連組織強化・拡大交流集会(菊池)、八戸金曜行動・有志主催、16人
- 11/26(月) 消費税街宣、8人32筆、青森生存権裁判を支援する会街宣・署名、7人22筆
なくせ!原発・核燃三八連絡会(新岡/8団体9人)
- 11/27(水) ゆきとどいた教育…の会市教委懇談(新岡/4人、教委4)※小・中教育費の負担軽減
- 11/29(木) 八戸地区高齢者運動連絡会(新岡)
- 11/30(金) 八戸金曜行動(PEACE LAND主催)、16人?
- 12/ 3(月) 階上町教育長懇談(新岡/4人、町教委は教育長と課長)※小・中教育費の負担軽減
- 12/ 4(火) 組織・運営検討委員会(中道、山田、新岡/10人・6組合)
- 12/ 7(金) 金曜日行動(PEACE LAND主催)、20人
- 12/ 8(土) 県労連評議員会(新岡-評議員、山田-幹事)、日本国民救援会八戸支部第28回大会-メッセージ
- 12/ 9(日) 八戸原水協・6・9行動、2人28筆(新岡)、新婦人八戸支部創立50周年を祝うつどい(中道)
- 12/11(火) 年金者組合うたごえ・クリスマスの集い(45人)
- 12/12(水) 2012年自治体要望書提出 ※広報統計課・久保さん
- 12/14(金) 年金者組合新組合員のつどい、29人、八戸金曜行動(PEACE LAND主催)-16人
- 12/18(火) 地労連幹事会⑥(6人)
- 12/19(水) コピー機再取得の回答書送付、県春闘共闘前期総会(欠)
- 12/18(火) 地労連幹事会⑥(6人)
- 12/19(水) コピー機再取得の回答書送付 ※再リース料・再取得料は変更されない
- 12/21(金) 八戸金曜行動(PEACE LAND主催)-20人、八戸地区高齢者運動連絡会(新岡/5団体8人)
- 12/23(日) 八戸生健会忘年会(新岡)
- 12/25(火) 宇都宮支援募金(3,000円-県労連に依頼)
- 12/28(金) 精算社団法人三八教育会館理事会 ※三八教育会館の譲渡(12/27)承認
八戸金曜行動(PEACE LAND主催)、20人
- 12/29~1/3 事務所閉鎖
- 1/ 5(土) 県労連幹事会(山田)、県民教連研究集会(35人)
- 1/ 6(日) 八戸原水協・6・9行動、コープるいけ店、6人34筆(内新婦人13筆) ※新婦人3、原水協3
- 1/ 7(月) 県労連新聞発送(㊦015)
- 1/ 8(火) 原水爆禁止2012年世界大会報告書発送(24社・個人-募金者、各加盟組織・大会参加者)
- 1/11(金) 地労連旗びらき、組合員30人(幹事5人)、来賓・友誼団体15人
八戸金曜行動(有志主催)-24人
- 1/15(火) 年金者組合うたごえ、13:30Joe

- 1/18(金) 地労連幹事会⑦、18:30三八教育会館
八戸金曜行動(PEACE LAND主催)、17:00市民広場
- 1/19(土) 県高齢者大会、10:20リンクステーション青森(文化会館) ※診療所7:30発、教育会館7:40
- 1/25(金) 青森生存権裁判判決宣判 ※9:30本八戸駅集合
八戸金曜行動(PEACE LAND主催)、17:00市民広場
- 1/26(土) 年金者組合・男の料理教室、10:00長者公民館(事前申込が必要)
- 2/ 5(火) 第2回組織・運営検討委員会、18:30
年金者組合新春のつどい、11:30長者公民館
- 2/ 8(金) 地労連評議員会、18:30三八教育会館

【活動の報告】

(1)地労連第24回定期大会

7月7日、三八教育会館で三八地労連第24回定期大会が開催された。出席者は、代議員18名、委任状出席7、代議員を兼務しない役員・傍聴者3名、県労連谷崎副議長と日本共産党三八地区委員会松橋政策委員長が来賓として出席した。大会議長には、阿部直俊さん(高教組)と菊池一文さん(八医労)があたった。

中道議長はあいさつで、なくせ！原発福島大集会や3.11なくせ！原発・核燃三八地区集会などの取り組みにふれ、これからも脱原発の運動を強めていこうと呼びかけ、消費税増税の「社会保障と税の一体改革」に反対する取り組み、地労連が結成以来取り組んできた自治体要望書活動の推進なども訴えた。

新潟事務局長が大会議案を一括提案、会計監査報告は書面提出で議長が読み上げた。

討論では8人が発言した。八医労・菊池さんは年末一時金の交渉で当初「0.3月」の回答を積み増しし「0.4月」分の支給を勝ちとったことを報告、団体交渉が力を発揮したことを発言した。高教組・寅谷さんは、参加者であふれた9月1日の「原発事故と放射能」学習会で、講師の先生から「魚は3年は大丈夫」と聞いたのに八戸沖のマダラの放射能が規制値を超えたのはなぜだろうー岩手、宮城では出ていない。河川が関係しているという説もあり、実態を明らかにし、情報を交換していかなければならないと発言した。県教組・中道さんからは、自治体要望書で学校のトイレに洋式便器の設置を求めている、要望に対して、実態についての回答があり、少しずつだが改善されていることが報告された。全労働職安分会の阿部さんは、100人を超える人が働いているのに正規職員は30人程度という職安の現状、管内の求人倍率は他地区に比べて高いがパートや有期雇用が多い、5〜6月はリストラ解雇が増えているという状況を報告しました。また、人事院勧告に基づかない賃下げ(特例法による)に対して損害賠償を求め、国公労連と組合員241人(第1次分)が東京地裁に提訴したことを紹介し、支援を訴えた。県教組・寺下さんは、県内では毎年20人程度の教職員が死亡している、(多忙、過労で)先生方は短命だと感じているー退職後5年が危ない、全国では8000人の休職者がいて6割がうつ病等々深刻な職場の実態を述べ、何とか変えていかなければと結んだ。また、原水爆禁止世界大会に二人の教職員を派遣することが決まったと述べ拍手を受けた。年金者組合・高橋さんは、年金者組合が2017年までに組合員を倍加する(400名が目標)取り組みをすすめている、年金者組合の組合員は全労連共済の福祉用具利用料の一部補助(自己負担分が補助される)が利用できること等を活用して進めていきたいと発言した。全医労・森越さんは、弘前では希望者だけによる2交替夜勤が導入されてしまったが、勤務を終えたときには酩酊状態にと言われているほどきつい勤務形態であり、八戸では導入を許さない取り組みを進めていきたいと発言した。年金者組合・兼田さんからは4点の質問があった。「組織・運営検討委員会は大会に報告するのか、幹事会にか。検討の期間はいつまでか」、「地労連としてみんなが顔を合わせる機会が少ない、メーデー交流会等をすべての組合参加で行うことはできないか」、「年金(切り下げ)は若い人の問題だと思うが、現役の取り組みはどうか」、「非正規・パートの組織化は進んでいるか」。これに対して新潟事務局長は、報告は大会に対して行ってもら、期間は1年(次期大会まで)、組合員が顔を合わせる機会として旗びらきやレクの取り組みがある、レクの予算を増やしたので多くの組合員に参加して貰うよう取り組みたい(なお、メーデー交流会は地労連でなく実行委員会の主催)、年金についての学習は地労連幹事会を含めて遅れているのが現状、非正規・パートの組織化は単組によって違いがあるが前進していると答えた。

議案は、反対意見がなかったので拍手で採択された。続いて役員選挙が行われ、幹事については2011年度と同じメンバーが立候補、会計監査は東北ビル従組の中山さん、年金者組合・畠山さんが立候補、いずれも

定員内だったため投票を省略し拍手で選出された。新年度の役員を代表して中道議長が決意を表明して団結がんばろうを唱和、山田副議長の閉会あいさつで終了となった。

(2)自治体要望書の提出

八戸市への提出は12月12日。各組合からの意見提出が少なく、要望書検討会を開いた後に再度各組合に問い合わせしながら作成した。内容としては、昨年度までの要望を踏まえつつ、新たに、公務員の大幅な退職手当削減に反対すること、TPP参加に反対すること、独居高齢者の緊急通報装置の設置助成と青森県社会福祉協議会が行っている「福祉安心電話」の利用について検討すること、大間原発の中止を求めること、「原爆と人間」パネルを購入し展示を行うこと等を要望した。1月末までに文書で回答するよう求めている。

(3)看護・介護ウェーブin八戸

10月20日、八戸市の「八戸ポータルミュージアム はっち」で秋の看護・介護ウェーブin八戸が開催された。ウェーブ行動を八戸で行うのは初めてで、主催は医療・看護改善共闘委員会(青森県民医連と青森県医労連で構成)、三八地労連も参加した現地実行委員会で八戸開催を具体化、「安全で安心できる医療・介護・福祉の確立を」をテーマに、県内各地と地元から、100人を超える医療や介護に従事する労働者、職員が参加して行われた。

八戸医療生協労組の大坂弘子委員長が、地元を代表して「中心街で行われる今日の集会とパレードは、市民への大きなアピールになると思う。八戸でも「医療難民」「介護難民」問題が見られ、生協診療所への訪問診療要請が対応しきれないほど増えている。「社会保障と税の一体改革」を許したら、患者・利用者にはもとより、医療・介護の現場で働く私たちの労働環境は厳しくなる。黙っていても暮らしも守れない。ウェーブをみんなの力で成功させよう」とあいさつした。全労災青森支部、全医労八戸支部、八戸医療生協、県民医連、三八地労連の5労組・団体からリレートークがあり、「安全で安心できる医療」とはかけ離れた職場・医療活動の状況や問題点が報告された。介護保険料や利用料の引き上げで制度を利用できず、家族の負担が大変という発言もあった。三八地労連は、青森県の緊急被ばく医療体制に組み込まれている公的病院では、原子力施設等から搬送される被曝した患者の治療を行うことになっていて、医療従事者の二次被曝の恐れがある、市民と医療労働者を被曝から守るためにも、なくせ原発・核燃の取り組みをすすめたいと発言した。

集会の後には中心街を白衣でパレードし、「医師・看護師、介護職員を増やせ、夜勤・交替制勤務を改善せよ、社会保障費を増やせ、TPP参加反対、消費税増税反対、なくせ原発・核燃等を訴えた。

(4)なくせ！原発・核燃三八連絡会(意見等)

三八地労連に事務局を置く「なくせ！原発・核燃三八連絡会」は、原発をなくす全国連絡会の提起にこたえて11月11日、「今すぐ原発ゼロへ 全国いっせい行動in八戸」を開催した。参加者はおよそ170人。主催者の挨拶とリレートークは分かりやすく、大間のあさこはうす訪問のお話も放射能が規制値を超えたマダラのお話しも身近なことからで、参加者は熱心に耳を傾けていた。参加者が多かった団体・労組は、生健会33、共産党25、新婦人21、年金者組合17、救援会15、八戸医療生協14、JR東労組13(自主参加)など。岩手県の二戸原水協と田野畑村からの参加者もあった。地労連の参加者は27名+α(八医労-医療生協に含まれている)。

連絡会では、下記の意見が出されている。

- ①シュプレヒコールが楽しかった。
- ②「こんなに多いの！」と感動していた金曜行動の常連さんがいた。
- ③旗(団体旗)が並んでいたのも、(個人参加の)自分がどこにいればいいのか分からなかった人もいたようだ。
- ④大間集会の意義を考えると合流しなかった気持ちはあるものの、今回は、大間集会の確定が遅く、見通しがはっきりしなかったのも、独自の集会開催となった。集会は、原発をなくす全国連絡会のよびかけー「全国の津々浦々でデモや集会をはじめ多様な形で、「原発ゼロ」の意思を示しましょう」ーにすなおにこたえた取り組みになったと思う。
- ⑤三八地区だけで170人近い集会を開催できたことは評価できる。
- ⑥今回は、年金者組合の奮闘はあったものの労組の参加が少なかった。医療生協+八医労の参加者数も目標からか

け離れていた。

⑧県組織との関係→原発をなくす全国連絡会に該当する県組織がないので、少しやりにくい。

⑨県全体の取り組みへの参加の態様→県組織が実行委員会として集会等を行う場合、共催(実行委員会に参加する場合の旅費が心配！)or各団体ごとの取り組み(連絡会として協力)かは、事務局会議で判断することにしたい。

⑩「原発ゼロ」署名は基本的に各団体で取り組み、2013年の3.11前後に何らかの共同行動が提起されると思うので、その際は連絡会として動きたい。

⑪「連絡会として金曜デモとの連携を考えてはどうか？」(高教組・寅谷)という意見が出されたが、個人参加でという金曜デモ主催者の意思を尊重することにした。

(5)八戸金曜行動

8月24日、市民団体PeaceLandの呼びかけで全国と連帯した金曜日行動が始められた。「PEACE LAND金曜アコースティック・デモ」と銘打っての行動で、リーダーが叩くドラムのリズムで市内中心街を行進、参加者手作りのプラカードをかざしながら、「原発いらない、核燃いらない、再稼働反対、子どもを守ろう」と訴えている。参加者は20人程度だが、店員さんや通行人などたくさんの人に手を振ってもらいなど、共感を呼んでいる。この行動は、17時開始のため現職の人が参加しにくい、団体名を出さない、PeaceLandの旗と幟でのパレードになる等の制約はあるが、今も毎週続けられている。原発をなくすまで続けるという主催者の決意を尊重し、応援していきたい。

(6)社保協キャラバン

青森県社会保障推進協議会は10月下旬から11月初旬にかけて、医療と介護・福祉の充実を求めて県内各自治体を訪問し、要請と懇談を行った。三八地区の行動には、八戸医療生協や新婦人、地労連、年金者組合、八戸生活と健康を守る会、八戸民主商工会などから多数参加した。

八戸市との懇談は11月5日に行われ、市側から17人、社保協からは29人が参加した。あらかじめ提出していた要求書に対して回答文書が読み上げられた。市の実情が説明されたが、大部分が現行維持の回答で私たちの期待に応えるものではなかった。社保協から、「貧困が受診抑制につながらないようにしなければならない。窓口一部負担金の減免制度が利用されていないので、基準を改善すべきだ」と要請した。また、警察官OBが福祉事務所に配置されていることについて、「威圧を感じ、相談しにくいので、やめてほしい」と求めた。市側は「犯罪歴がある人や元暴力団員等への就労支援を行ううえで必要」と説明したが、疑問が残った。

三八地区7市町村への訪問では、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種助成が増え、4市町村で行われていることが分かった。未実施の自治体では実施の必要性を訴えた。

独居高齢者の緊急通報システムのこと、後期高齢者の健診項目が少なすぎるなど等についても情報を交換し、意見を述べることができ、有意義な行動となった。

(7)「原爆と人間」パネル展、朝市署名、世界大会報告会－八戸原水爆禁止の会の活動

八戸原水爆禁止の会は7日と8日の両日、三日町・はっちで、日本被団協が作成した新「原爆と人間」展を開催した。パネル展にはたくさんの人が訪れ、展示されたパネルと真剣に向き合った。今回、一日目の様子が地元紙に報道されたこともあって、来場者が多かったようだ。五千円を超える被爆者救援募金と核兵器全面禁止のアピール署名も寄せられた。

八戸市館鼻岸壁で開催された湊日曜朝市で、8/5、8/12、8/19の三度、核兵器全面禁止のアピール署名が行われた。朝市買い物客や観光客など多数の署名と募金が寄せられた。子ども連れの来場者も多く、自主的に署名した小学生は、両親に住所を確認しながら署名、父親からほめられていた。他県から来た人からは、署名とともに、がんばって下さいと声をかけていただいた。

8月24日、三八教育会館で原水爆禁止2012年世界大会報告会が行われた。三八地区からは、八戸医療生協や教職員組合からの代表4人が参加したが、この日は4人そろっての報告となった。

医療生協から参加した佐々木美音緒さんは、碑めぐりと平和記念資料館の展示について、スライドで

丁寧に説明した。強い熱線が皮膚がめくれてしまう痛ましい姿を生じたことや被爆ユーカリの生命力、たくさんの薬や医療材料をとどけ治療活動にあたったスイスのジュノー博士のこと等について語り、さらに分科会や民医連交流会についても報告した。根岸小・工藤美子さんは、分科会で見た映画「黒い雨」やZDF(第2ドイツテレビ・筆者注)制作の「福島の子」の映像で放射能被害の恐ろしさをあらためて感じたことを語った。桔梗野小・千葉久美子さんは、三度目の広島で、今回は記念館や碑などもじっくり見ることができた。大会で報告した高校生の取り組みがすばらしいと感じたと報告した。八戸一養・武田郁子さんは、8月6日の広島にいたことが自分にとっては一番大きなことだったと語った。教職員の集いのこと、原発問題のこと、エネルギーがテーマのご自分の授業でどう教えていくかについても触れた。30人近い参加者となった報告会は、いっそうの署名推進など会の活動を強めることを確認して散会した。

(8)ゆきとどいた教育を考える三八の会の市教委懇談、階上町教委懇談

11月14日の幹事会で、私費の問題について事務職員の佐井由美子さん(県教組三八支部)の報告を聞き、教委との懇談はそのことをテーマとした。プール運営費、知能検査代、学校修繕費、職員の修学旅行の費の一部(ディズニーランド入場料、四季の観劇料)、遠足等の実地踏査費など具体的な例をあげて、本来公費で負担すべきものを徴収あるいは安易にPTA会費等から支出していることは、地財法に違反する面が強く、改善が必要だと話をした。市教委は、会の主張は正当だが予算不足で対処できないと回答した。階上町は、町民プール(学校プールがないため)利用のためのバスを出している、知能検査代は公費で負担しているなど、八戸市に比べるととても良い回答だった。しかし、後援会費を全世帯から徴収していることについては、解決の方向には向かっていない(「少しおかしなやり方」かも知れないという程度の認識は持ったと思う)。

(9)日本共産党から協力・共同の申し入れへの対応

日本共産党青森県委員会と三八地区委員会から、事務所などへの日本共産党の宣伝物の掲示、政策やビラなどを資料として配布すること、さまざまな機会に日本共産党候補者を紹介すること等の協力・共同のお願いがあった。地労連としては、申し入れがあったことを各組合に伝え、その際、参考のためのチラシを同封した。幹事会では、今回の選挙にあたっては従来のやり方を変えないこと、変えるとしても評議員会が大会で議論してからにすることを確認した。

(10)いい一日行動-全医労

全医労八戸支部は、全医労の統一行動日に合わせ、11月8日「いい一日行動」を実施した。朝8時からビラ配布を始め、「豚汁」「炊き込みご飯」を調理し、昼休みには、差し入れされた「角煮」「漬物」「りんご」等を美味しくいただきながら、自立支援法についての学習会を開催した。その後、「しゃべり場」と化した場で、職場の不満やなぜなんだろうという疑問を話し合い、働きやすい職場づくりについて語り合い、楽しい、有意義な一日を過ごすことができた。退勤時調査では、署名と年休・超勤アンケートを実施し、ほとんどの看護師が超過勤務をしている、職場によって年休が取得しやすい職場、申請しづらい職場があることが明らかになった。

(11)組織・運営検討委員会12/4

検討課題は、①「選出基準」等、②財政、③事務所と事務局の構成の3点。12/4の検討委員会には6組合と幹事会から10人が参加、年金者組合・兼田書記長を委員長に、職安分会・阿部文会長を副委員長に選出した後、①「選出基準」等について論議した。結成当初の選出基準では代議員数・評議員数が少なすぎて、充実した議論が行われない、運営上の支障もある等の意見が出された。選出基準の具体的な案(代議員・評議員の選出分母をほぼ1/2にする)も議論され、おおむね意見の一致を見た。②財政、③事務所と事務局の構成については、2/5の会議で検討することにした。

(12)建交労サンライズ産業労組の消滅、会計監査・中山氏の退職(東北ビル従組からの離籍)

連絡が取れないままの建交労サンライズ産業労組が実態を失っていたことがひだまりユニオンへの労働相談で明らかになった。組合費納入と脱退手続きを行うべき当事者の不存在及び会社の所在地がおいらせ町ということもあり、この会議で「自動的な離籍」を確認したい。

会計監査の東北ビル従組・中山さんは、10月1日付で東北ビルを解雇となり(解雇予告を受け入れた)、東北ビル従組組合員としての資格を失った。中山さんは会計監査だが、退職後の所属組合がなく、地労連役員(会計監査)の身分を失うことになった。

Ⅱ 2013年春闘方針(案)について

【私たちを取り巻く情況】

(1)第46回衆議院選挙の結果について

12月16日に投票された第46回衆議院選挙での各政党の獲得議席は、自民党・294、民主党・57、日本維新の会・54、公明党・31、みんなの党・18、日本未来の党・9、共産党・8、社民党・2、新党大地、国民新党・各1、無所属・5の結果となった。自民党が単独で絶対安定多数を確保して、連立相手の公明党とあわせれば再議決可能な3分の2の議席を確保することになった。国民の意思がより反映する比例区の結果を前回(2009年9月)と比べると、自民党はプラス1、公明党は同数の結果でしかない。民主党が57議席減らし、その分が総選挙直前に結成された新たな政党(日本維新の会と日本未来の党)と、みんなの党の議席に回っている。12もの政党が乱立した状況のもとで、消費税増税などの公約違反を繰り返した民主党への批判が、離合集散で誕生した「にわか政党」に分散したことは明らかである。

そのような有権者の投票行動が、1選挙区1人の当選者しか生み出さない小選挙区での自民党「圧勝」の要因になった。民主党の失政への国民批判と、主権者の意思をゆがめる小選挙区制度での自民党の「勝利」である。自民党が総選挙で掲げた大胆な規制緩和などの構造改革推進や、集団的自衛権行使、国防軍設置などの軍事大国化推進の公約が支持されたとは到底言えない。消費税増税、TPP参加、原発ゼロの日本実現などでの国民の要求傾向と、選挙結果には大きな乖離があり、これらの要求にもとづく政治選択が行われた結果とも言えない。総選挙後の新たな政治状況のもとでも、国民の世論と運動が政策決定のカギを握り、政治を動かす原動力となる状況は、いささかも変わらない。労働者、国民要求にもとづく共同を広げ、悪政の強行を許さない国民運動の前進をめざしたい。

今回の総選挙での投票率は59.32%と、戦後最低を記録した。民主党には裏切られた、しかし自民党には、という有権者が、受け皿となる政党をつかみ切れなかった結果である。それは、解散から投票日まで1カ月余りという短期間の選挙で、しかも公示直前まで政治家の離合集散が繰り返されるという政治の混乱で、総選挙の争点が曖昧になった結果でもある。先に触れた選挙制度の弊害是正とあわせ、議会制民主主義の形骸化に歯止めを打つ仕組みづくりが強く求められる。

(2)雇用、くらしの安定と改善こそ重視すべき経済対策

政府は1月11日、「日本経済再生に向けた緊急経済対策」を閣議決定した。「機動的な財政政策」、「大胆な金融政策」、「成長戦略」の「三本の矢」で円高・デフレ経済からの脱却をめざすとする緊急経済対策の特徴の第一は、事業規模20.2兆円、そのうち10.3兆円を2012年度補正予算で措置するという大規模な財政支出である。その予算を確保するため、新たに5.2兆円もの建設国債を発行するとしている。第二は、「明確な物価目標のもとで、日本銀行が積極的な金融緩和を行うことを強く期待する」として、「通貨の番人」である日本銀行に通貨量の増加による金融緩和を迫るという「禁じ手」に踏みこんだ金融政策である。第三は、「世界で一番企業が活動しやすい国」をめざすなどとして、環境、医療などの分野を中心に「大胆な規制改革」をおこなうことなどを盛りこんだ成長戦略である。

三つの施策は、2000年代初頭からの小泉「構造改革」でとられた供給サイド重視の施策と全く変わらない。くらしの安心確保のためとして「道路の無電柱化の推進」や「都市公園等の整備」が盛りこまれ、地域活性化の名目で「都市鉄道ネットワークの利便性の向上」が措置されるなど、多額の税金が不要不急の開発に使われようとしている。一方で、人材育成・雇用対策には0.3兆円しか措置されず、その内容も非正規労働者の職業訓練費用の助成など効果が疑問な企業支援策となっている。福島原発事故の除染事業に携わる労働者に渡るべき危険手当を事業者がピンはねしていることなど、「ブラック企業」が公共事業費にたかっていることが指摘されている。そのようは不当な雇用関係を是正しないままの企業助成策では、労働者に対策の効果は回らない。

デフレ経済克服のための経済対策を大胆に実施するというのであれば、電機産業などで強行されている大規模なリストラをやめさせ、中小零細企業を対象に最低賃金1000円を実現するための支援策を講じ

るべきである。大幅賃上げや非正規労働者の正社員化を財界・大企業に求め、公共事業費のムダ遣いやピンはねを厳格に規制する公契約法・公契約条例を整備するなど、壊れている富の再配分機能を修復する施策を同時に実施すべきである。

(3)大間原発の工事再開と青森県の雇用状況

- ① 昨年の10月1日、建設工事が再開された電源開発の大間原発。プルトニウム・ウラン混合酸化物(MOX)燃料を全炉心に装荷できる世界初の商業炉として、核兵器に転用可能なプルトニウムの大量消費役に位置付けられている。フルMOX対応の大間原発は、MOX燃料の装荷が炉心の3分の1程度にとどまる他の原発より、約3倍のプルトニウムを消費し、その分多くの使用済みMOXも生み出す。2005年に策定された原子力政策大綱は、使用済みMOXについて再処理を基本方針とし、「処理方策は10年ごろから検討する」としている。国は六ヶ所村の使用済み核燃料再処理工場とは別の「第2再処理工場」を建設、再処理する方針だが、六ヶ所再処理工場ではトラブルが相次ぎ、いまだ完成には至っていない。サイクルの本命である高速増殖炉開発も立ち往生した。サイクルを含め原子力政策の在り方を議論する内閣府原子力委員会は、新戦略で「廃止・改編を含め抜本的に見直す」とされており、第2再処理工場を検討する土台すら揺らいでいる。第2再処理工場は、むつ市で13年10月に事業を開始する予定の中間貯蔵施設で保管する使用済み核燃料の搬出先ともされる。計画が具体化しなければ、使用済みMOXと使用済み核燃料が県内にとどまり続けることになる。
- ② 原子力規制委員会の調査団は26日、東通村の東北電力東通原発敷地内の断層が活断層かどうかを判断する2回目の評価会合を開き、前回活動性を指摘した敷地内を縦断する2本を含む複数の断層について「活断層である」と断定した。島崎氏は会合後の会見で活断層があることを前提に調査をしなければ停止中の1号機の再稼働は認めない考えを示した。
- ③ 青森労働局の発表によれば、11月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ0.5%減少の19,953人、有効求職者数(同)は1.7%増加の34,207人で、有効求人倍率(同)は前月を0.02ポイント下回る0.58倍となった。

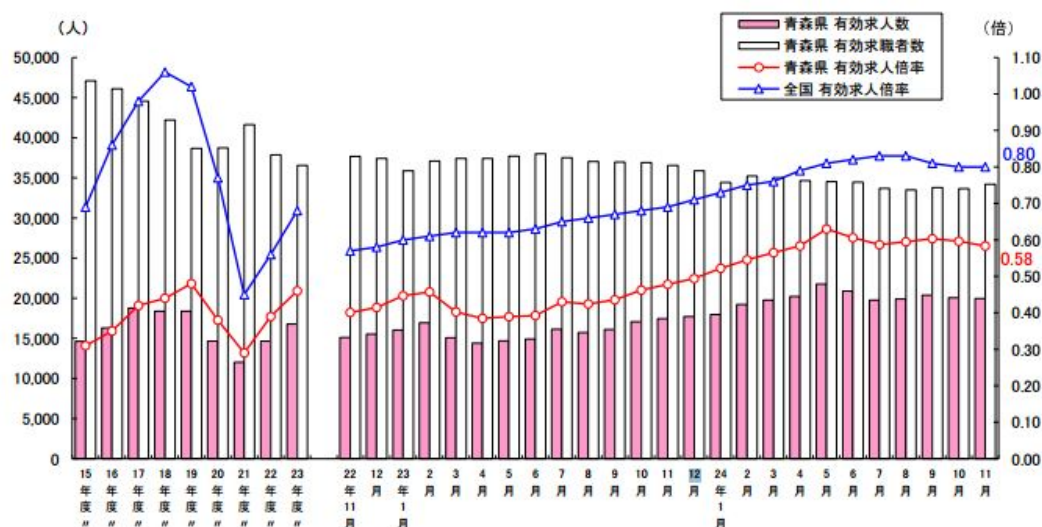
最近の雇用情勢について

(平成24年11月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

11月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ0.5%減少の19,953人、有効求職者数(同)は1.7%増加の34,207人で、有効求人倍率(同)は前月を0.02ポイント下回る0.58倍となった。



ポイント下回る0.58倍となった。11月の新規求職者数は、前年同月比4.7%(247人)減少、前月比16.8%(1,020人)減少の5,038人。求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は6.5%(80人)増加し、離職者は6.4%(218人)の減少、無業者は17.6%(109人)の減少となった。離職理由でみると、事業主都合は14.7%(204人)の減少、自己都合は0.6%(12人)の減少となった。

- ④ 臨時国会に提出されていた国家公務員の退職手当削減法案は、衆議院の解散直前の11月16日に審議入りし、午前中の衆議院総務委員会での趣旨説明・質疑からはじまり、午後の参議院本会議での採決までを1日でやりあげ、成立が強行された。公務の特殊性や人事院の調査結果について納得できる説明も行わないまま、退職手当を平均で402.6万円削減する暴挙である。 高校教諭経験36年以上、定年退職者の試算
- | | | | |
|----|------------|------------|-----------|
| 現行 | 退職年月 | 退職金(円) | 削減額(円) |
| | 2013年3月31日 | 27,440,000 | |
| 引 | 2013.4.1～ | 26,930,000 | 1,510,000 |
| 下 | 2014.1.1～ | 24,430,000 | 3,020,000 |
| 後 | 2014.10.1～ | 23,186,000 | 4,280,000 |
- 退職手当の減額を提示した。国会解散のどさくさにまぎれて決まったものをそのまま青森県にも適用するというもので無茶苦茶というしかない。しかも提示は、1月や10月からの引き下げ幅増額という、学校で働く教職員の勤務条件をまったく無視した許しがたいものである。

【2013 年春闘で実現をめざす重点課題】

- すべての労働者の賃金引き上げと雇用の安定を追求する
 - (1) 「誰でも時間額100 円以上、月額1万円以上の賃金引き上げ」の実現をめざす。
 - (2) 2月の要求書提出、3月の交渉、統一行動を全国的な流れに沿って取り組む。
 - (3) 公務員賃金削減反対、退職手当削減反対の取り組みをすすめる。
- 労働時間短縮などによるすべての労働者に働きやすい職場を追求
 - (1) 週60時間以上労働の根絶、サービス残業の全廃、年休の取得など、具体的な要求を地域課題として宣伝し、実現のための取り組みをすすめる。
 - (2) 60 歳代前半の雇用確保について、各組織で労働協約締結、改定に取り組む。
- 最賃闘争、公契約適正化運動を前進させ「地域賃金相場」の引き上げを追求する。
 - (1) 最低賃金引き上げ要求を職場から強め、すべての組合で国会請願署名に取り組む。
 - (2) 公契約条例制定の要求と共同を地域から組織する。
- 国民的課題を県民・地域と共にたたかう
 - (1) 公共サービス切りすて、公務リストラの「地域主権改革」に反対する
 - (2) 地域経済と暮らしに深刻な被害を与えるTPP参加反対、消費税増税の中止を求める共同の取り組みを強める。
 - (3) 「税と社会保障の一体改革」に反対し、制度の改善をめざす。
 - (4) 住民本位の東日本大震災復興といますぐ原発ゼロにむけ「3・10」全国いっせい行動を大きく成功させようとの全国連絡会の呼びかけに答える行動に取り組む。取り組みは、「なくせ！原発・核燃三八連絡会」での協議及び県集会を予定している「原発・核燃あおりネットワーク」の動向を見ながら具体化する。
 - (5) 虚構の多数を生み出す小選挙区制廃止の取り組みをすすめる。

【行動日等の設定】

- 2/17(日) 地労連春闘勝利ボウリング大会、10:00ゆりの木ボウル
- 2/21(木) 地労連春闘学習会、18:30三八教育会館
- 2/23(土) 県・春闘勝利決起集会&デモ行進、13:00労福会館(青森市)
八戸医療生協創立23周年記念大学学習講演会、14:00福祉公民館
「くらしと命・平和をみつめ共に考えよう」ー比嘉努民医連社会保障委員長
- 2月中旬 要求書提出
- 2月下旬 地域総行動
- 2/28-3/1 3.1ビキニデー、静岡市&焼津市
- 3/10(日) 住民本位の東日本大震災復興といますぐ原発ゼロにむけ3・10全国いっせい行動
- 3/13(水) 3.13重税反対全国統一行動

第1次集中回答日

- 3/14(木) ストを含む全国統一行動、地域行動
4月中旬 回答引き出し・追い上げの第2次全国統一行動
5/ 1(水) 第84回メーデー三八地区集会

第2号議案】2013年度暫定予算（案）

2012年度暫定予算について、下記のとおり執行することの承認を求める。

1. 執行期間 2013年4月1日から6月30日
2. 執行額 2012年度予算額の4分の1を限度とする。各科目についても4分の1とする。

【第3号議案】2013年度役員定数について

役員選挙規則第4条の規定に基づき、2013年度役員定数を下記のとおりとする承認を求める。

1. 副議長2名
2. 幹事5名
3. 会計監査2名

〈議長1名・事務局長1名・事務局次長2名は規約第20条で規定〉

【第4号議案】選挙管理委員の選出について

選挙管理委員を3名とし、役員選挙規則第3条第1項の規程に基づき、下記3名の選挙管理委員の選出を提案する。

寺下之雄（県教組）・木下健次（年金者組合）・高清水郁子（全医労）